



▲この日成人式を迎えた新成人

8月15日、新成人の新たな門出を祝福し
 激励する町成人式が、町文化センターで行
 われました。
 今年度新成人となるのは、平成6年4月
 2日から平成7年4月1日に生まれた人で、
 当日は、新成人44人のうち、33人が出席し
 ました。
 会場には、家族など多くの人が来場し、
 新成人へ大きな拍手などを送り、新たな門
 出を祝福していました。

▼「久しぶり」「どうしてた?」と話が弾む



成人式

決意を胸に、新たな門出。



▲笑顔で再会を喜ぶ

▶当時の仲間たちと記念撮影



「若き日の思いや決意をしっかりと胸に刻み、
それぞれの夢や目標に向かって進んでほしい」

式辞の中で景山町長は「これから皆さんは社会の中で一人前の大人、すなわち『成人』として扱われます。『成人』になるということはどういうことなのか、自分に問いかけてください」と新成人に語りかけ、「これまでの20年を振り返りながら、今日を節目にこれから成人として生きていくであろう何十年という歳月に思いをはせてください。『自分はこれからどう生きるのか』を問いかけ、今日の『若き日の思い』や決意をしっかりと胸に刻んでください」と激励しました。



▲新成人へ激励と祝いの言葉をかける

い社会情勢の中で「誰もが安心して暮らせるまち」の実現をめざし、子育て支援など次世代を支援する施策の実施に向けてさらなる努力をしていくことを説明し、「行政のみならず町民も、これからの国や地域社会、とりわけ『ふるさと』を担ってくれる若い力に大きな期待を寄せています」と話しました。

また、小学校と中学校時代の恩師として、古都真由美さん、木村（旧姓永登）あかねさん（以上、根雨小学校）、安達ひとみさん（黒坂小学校）、仲（旧姓高梨）素子さん、西田周郎さん（以上日野中学校）の5名が出席し、当時のエピソードを交えながら、新成人への心こもったメッセージを送りました。

その後、新成人への記念品を長住雅之さん（野田）が受け取り、新成人代表として音田里穂子さん（別所）と池未裕輝さん（下黒坂）があいさつし、これまで育ててくれた親や恩師らへの感謝の言葉や新成人として誓いの言葉を述べました。

式典の最後は、出席者全員で町民憲章の唱和と町民歌「きらりこの町」を歌い、盛大に締めくくりました。

小学校、中学校の恩師も新成人を激励

小学校と中学校時代の恩師5名が出席し、かつての教え子の成長した姿と当時の姿を重ね合わせながら、お祝いの言葉と心こもったメッセージを送りました。

新成人らは、紹介された当時のエピソードに時折笑顔を見せながら、恩師からの言葉に熱心に耳を傾けていました。



西田さん（日野中学校）

「20歳になって、これからの人生を少しずつ考えていくことだと思います。その未来は無限ですか？子どものころは制限なく夢を描いていたと思いますが、今は自分の中で枠を決めてしまっていないか。」

人は試さずにやめてしまします。自分ができるかできないか、やりたいかやりたくないか自分で動いて確かめてください。

未来はやってみないと分かりません。未来を想像して自分のすてきな未来を作り上げてください」

「当時は、みんな和気あいあいと仲が良く、人の気持ちを考えて行動できる子たちでした。これからいろんな人と出会っていきます。自分が困った時に助けてくれる、逆に困った人がいたら助けてあげられるようなつながりや縁を大事にしてほしいです。」



木村（旧姓永登）さん（根雨小学校）